

令和2年11月6日

芦屋市企画部市民参画課  
課長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしや NPO センター  
事務局長 橋野 浩美

### 第3回 SDGs を体験しよう！事業名報告書

- 1 日 時：令和2年11月4日（日）13：30～16：30
  - 2 会 場：リードあしや 会議室 CD
  - 3 担 当：橋野
  - 4 参加者：11人（ファシリテーター2人含む）
  - 5 講 師：中嶋 雅美（SDGs 公認ファシリテーター）
  - 6 事業詳細
    - (1) 目 的：SDGs を学ぶことによって市民活動にどんな変化や可能性をもたらすのか、活動を継続的に、より高めるために何が必要かなどの気づきの場とする。
    - (2) 内 容：2030 SDGs カードゲーム体験  
SDGs の17の目標を達成するためのゲーム  
与えられた使命と、プロジェクトとを達成  
するために世界状況を念頭におき、参加者全員でゴールを目指す。
  - 7 アンケート結果：ゲーム参加者8人中 回答8人
    - ・イベントの満足度：満足6人 やや満足2人
    - ・知った方法：口コミ3人 リードあしやHP等3人 広報あしや2人
    - ・受講動機：取り組みを知りたかった7人 回答無1人
- 【満足の理由】**
- ・自分が見えた気がします。目の前のことにいっぱい周り（先の事）が見えていない。考える時間をいただけた気がします。まわりに人生に目を向けたいと感じました。
  - ・たくさんの気づきがあった。
  - ・SDGs の意味が少し理解できました。今後深めていきたいです。
  - ・少人数で分かりやすく、やりやすかった。
  - ・先生の分かりやすい解説のおかげで、SDGs が理解できつつある感じですが。ゲームは経済の発展→環境社会と低下というように現実問題とつながっているように思えた。自分の目標達成のために（経済を増やす）環境が減ることになり現実と重なり心苦しかった。
- 【やや満足の理由】**
- ・ゲームの方法がよくわからないまま始め不安だったが、それなりに考え、皆さ

んに助けってもらって目標を達成することができた。

- ・難しいなりに自己開発。

#### 【感想】

- ・出会いがある。
- ・SDGsの達成も世界の国が協力しないとできないだろうと思った。
- ・カードが示す「世界の状況メーターの変化」+1、-1に?あり。
- ・初めてこのような会に参加しました。とても楽しく参加させていただき感謝しています。広い視野で物事を見る大切さが分かりました。また参加したいと思います。
- ・自分は世界の中の一人という小さな存在で、ゲームの中では、結局世界のことを考えず自分の目標達成のために富を手に入れ、世界の環境を一つ減らすことになってしまった。現実においても全く同じことが起きるということを実感したが「自分一人が良ければよい」「自分一人がこんなことをしても大したことではない」という行動が世界を壊すことにつながるのだと思う。
- ・何事も協力することを念頭に入れて行動する。世界は一人では回せない、みんながひとつになり行動する。
- ・当たり前の話だが、自分のことばかり考えていてはだめなのだなあと改めて思った。
- ・今、社会の変化が激しいので、メーター変化が?のものもありました。
- ・世界の人々がSDGsを知り、少しずつ少しずつ小さなところからでも気にかけて生活してくれたら大きなものが変化する気がします。世界が一つになればいいのに… 今日ワクワクしました。いただいたカードをながめながら10年後を考えます。

#### 8 振り返り

- ・今回は障がいをお持ちの方もいたが、「誰一人取り残さない」SDGsの精神で全員でゴールすることができ、少人数ではの一体感を得たことで、好評であった。
- ・当日の欠席者、出席の日付の間違いなどなど、出席者の把握や、機器の設営などに手間取った。再確認を怠らないことが必要である。



以上